

学校 番号	58	学校名	伊那北高等学校
----------	----	-----	---------

## 平成 29 年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成 30 年 1 月 27 日（土）実施】

### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 学校長挨拶
- 2 本年度の本校活動中間報告
  - (1) 学習・進路指導について
  - (2) 生徒指導について
  - (3) 特別支援教育及びスクールカウンセラーの活用について
  - (4) P T Aからの意見について
  - (5) 学校評価について
  - (6) その他
- 3 意見交換
- 4 学校長挨拶

### 2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 理数科課題研究発表会のあとに学校評議員会を設定し、生徒の活動の様子や研究成果を参観していただく機会とした。
- 2 会議資料について本校の現状と課題を明確に示す内容とするとともに、意見交換の時間を十分に確保できるように、職員の説明を簡潔に行うよう配慮した。また、本校の教育活動への理解を深めてもらうために、広報誌（クロスペン・フォト・レター）や主な HP 掲載記事（写真でお伝え 学校生活だより）を別冊資料として用意した。

### 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 1 学校教育全般について
  - ・ 広報誌（クロスペン・フォト・レター）や HP 等により、高校生の活躍を知ることができる。またそれにより教員の苦労もうかがい知ることができる。
  - ・ 高校入試改革、高大接続改革など、今後一層中高の連携が必要になってくると思われる。連携を強めていってほしい。
  - ・ 高校生による学習支援ボランティアは、中学生にも好評であり、協力を感謝している。
  - ・ 保護者として、扇風機・高志館（生徒の自習施設）等、学習環境の整備、改善を凶っていただき感謝している。古い校舎ということで対応が難しいところもあるかと思うが、今後も生徒がより良い環境で様々な活動に取り組めるよう配慮してもらいたい。
  - ・ 生徒による授業評価、匿名性を担保した学校評価の方法やフィードバックの方法について説明してほしい。
- 2 課題研究発表会について
  - ・ 内容的に非常に高度なものであり発表も素晴らしかった。
  - ・ 高校生が夢中になって取り組む課題・対象が目の前にあることはとても大切なことであり、生徒にとってはかけがえのない良い経験であると考えている。それだけに、過度の負担が生じないように、カリキュラムや時間の確保に関する検討、改善の必要性があると感じる。

3 生徒指導等について

- ・心の問題を抱える生徒について、様々な対策を講じていく必要がある。また、SSW との連携も強化していくことが重要である。

4 学習・進路指導について

- ・他校では、社会人として必要な知識として、労働基準法や関係する事柄について学ぶ機会を設けている。大学進学後のアルバイトにおいてもブラック・バイト等の問題があるため、伊那北高校においてもそのような機会を設けてほしい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

1 今回（第2回）は、理数科課題研究発表会に合わせて設定し、生徒の活動の様子や学習の成果を見ていただく良い機会となったので、次年度も継続したい。

2 設定した時間のなかで、可能な範囲で各学校評議員から十分な発言をしてもらえよう、内容及び時間配分等について工夫していきたい。